

佐藤雲韶編纂
福岡欽崇揮毫
高等科習字帖

三年生
後期

第六

K120.71
22.1a
6

K120.71

22.1a

6

佐藤雲韶編纂

版權所有

高等科習字帖

福岡欽崇揮毫

文海堂藏梓

日用書類

新奉... 法考... 目生... 度申... 納... 出... 以...
 考... 家... 出... 持... 以... 機... 抽... 能... 出... 超... 業... 家... 初... 行...
 考... 業... 賀... 公... 次... 杜... 宅... 一... 回... 登... 多... 越... 年... 致...

天官地安之... 謹云

一... 謹云

... 謹云

明の心電より新年の宴会法催し
此の就招の形に難有き事なるを
當座席の致し早に相違

先般貴客の面会は来月東京
表の滞車を遂りては何方に居る
所を貴客の承知を乞ひては

數町名番地詳細口部古新
控店手代業今及各地方一派出為
致付自然卷之店一も業之可仕也

首小和回程世心置出引合第度
尤同人一添書お流、重々也
高法會議所規則改正之件有以協

豫致及々条束哉。午後三時教會
一以會同禮之後。下皇殿。復回章在
以之。此長の通也。中上之也。

子百見不。して。此。返り。古。或。某氏
日本地圖。五極。評判。可。安。否。為。三十
新。程。至。急。此。回。送。古。或。否。也。

此中誠之日本地圖初版已之旁切目
下第一版印刷中有一圖問程所
程餘之下及生及世回等也

長男某儀之退校後先生之就于數
學修業致友者申出有尤未熟之
定之法面後之存之也伊等及校

其の及也。昭儀中として、青野、故、
少、息、(数学)教授方、依、新、(取
進)知、政、(孝)い、進、儀、(元)臺、五、六、名

日、(年)及、(三)時、(り)身、(学)いた、(大)一、(修)官
出、(今)息、(も)回、(別)に、(出)出、(る)る、(に)心、(を)こ
無、(し)の、(右)お、(答)答、(ま)た、(早)い

先般集館の旨形宗旨事件を如
何お運びの程手前方針畫を即令
もあつし同至急法回答を致す

一度法依頼中と致す也
法回答の趣旨は今主人が在り付
以確たる致答を何れ主人御室

以第甲乙は返るりりりりり

以日の均等とて自國と茶を世故
茶とて茶葉摘み加減と茶が茶

摘女もと名産入に債銀は後
其自身控銀乃割を以て支給の致
り同の控もの出せ話と致り也

お忍陳の号大人の御筆は療養の
叶せられぬ道に遊ま成され申謀
驚入の次第は程定ては秘傳の程

幸の爲め物香を料として金若干
濟室ありお供仕候

衆候此の地と幸な御高直仕切

精算帳以圓付お集り合せたり又お
連母之印金若干業銀行にお替
を以て及少し付公衆收訖更

此等圓帳下、後多也

仕切計算帳と金貨三井を替てして
呈報下、所請取訖呈上、公衆集

此亦受口誦人之程事也

委任狀之事

拙者儀病氣身何と謹んで部理

代人と宣め拙者名義を左に権限
を代理為致す事

一何と云ふ事

右委任状依る如件

敬重福岡欽崇書



明治廿一年十月四日出版

明治廿一年一月廿五再印刷

明治廿一年一月廿六訂正再版

東京府麹町區富吉町三丁目五番地

著作者

佐藤雲韶

愛知縣名古屋區葛町百五拾三番戶

書者

福岡欽崇

愛知縣名古屋區本町四丁目七番地

發行兼印刷者

矢田藤兵衛



K120.71-71

